

20万人の
ひろば



八千代ふるさと親子祭 こいのぼり大遊泳を実施します



4月29日(例)～5月6日(休)午後3時まで、新川ゆらゆら橋で八千代ふるさと親子祭実行委員会主催によるこいのぼり大遊泳を行います。約100匹のこいのぼりと景気回復を願う「景気うなぎのぼり」を掲揚します。

お問い合わせは、同実行委員会事務局（八千代商工会議所）☎483-1771へ。

市民伝言板 /

■ソフトテニス教室（一般） 市内在住か在勤・在学の高校生以上対象。初心者から経験者まで可。先着25人。4月15日(火)より随時受け付け。4月20日(日)午後1時～5時。以降毎月1回日曜日に実施。総合運動公園1、2コート。1回300円。八千代市ソフトテニス連盟・永井☎FAX484-6981、✉nagai.kouji@jcom.home.ne.jp

ミニ・ガイド

■認知症講座 オレンジ教室 テーマは「認知症へ理解と備え」。認知症になるのを遅らせることはできるのか？認知症予防とは？認知症の基本的な知識も交えた講座です。5月17日(土)午後2時～2時50分、八千代病院デイケアセンター。申し込みは5月14日(水)までに八千代病院認知症疾患医療センター☎488-2071へ

■認知症 家族の集い 認知症を抱えた人の家族同士で「自分の体験を語りたい」「他の人の

話を聞いてみたい」という人は、お気軽にご参加ください。認知症と診断された人の家族などが対象。5月17日(土)午後3時～4時、八千代病院デイケアセンター。申し込みは5月14日(水)までに八千代病院認知症疾患医療センター☎488-2071へ

■精神障害者家族 対話と交流の会 精神障害者の患者を身内に持つ家族を対象に「令和7年度精神障害者の福祉計画について」をテーマに開催します。4月24日(木)午後1時30分～3時45分、プラッツ習志野（習志野市中央公民館）北

安楽宙斗選手 プロのクライマーとして活動へ

スポーツクライミングパリオリンピック銀メダリストで18歳の安楽宙斗選手が、3月12日に東京都内で会見を行い、高校卒業後はプロとして活動することを表明しました。

安楽選手はこの春に八千代高等学校を卒業。卒業後の進路について、家族や友人、先輩選手などにも相談し決断したとのことで「いちばんはクライミングを突き詰めて頑張りたい、クライミングに集中する時間が欲しいと思った。大学で強く学びたいことが今はまだなかったの、それであればクライミングを頑張りたい」と思い、パリオリンピック後の昨年9月ごろに決断した」と話しました。

目標は圧倒的な強さを持った「最強のクライマー」であり続けることであるとともに、より多くの人にクライミングの魅力と楽しさを伝えていきたいと話しました。

また、3年後のロサンゼルスオリンピックに向けては「もちろん金メダルをとりたいが、僕は長い目標を立てるとそれにとらわれてしまい、うまくいかなかったときに計画が壊れてしまうと思うので、1年ごとに全力を尽くしていきたい。まずは今年9月の世界選手権に向けて目標を立てていきたい」と、新たな第一歩への意気込みを語りました。



▲プロクライマーとしてさまざまなことに挑戦していきたいと語った安楽選手

道の駅やちよ・八千代ふるさとステーションに 災害対応型トイレが完成しました

令和3年6月に国土交通省より「道の駅やちよ」が県内唯一の「防災道の駅」として選定されたことを受け、八千代ふるさとステーションに同省が整備を進めていた「災害対応型トイレ」が完成し、3月28日に落成式が行われました。

同トイレは、地震などの災害発生時に、排水管の破損によって排泄物が流せなくなる事態に備え、災害時には排水先をトイレの下に埋設したピットに切り替えることができ、400人ほどが3日間使用できます。

また、災害時に断水が発生した場合は、

大便器の洗浄水量を平常時の5リットルから1リットルに切り替えることで、少量の水で洗浄することができます。



▲寝台を備えたバリアフリートイレも設置されています

館集會室1。申し込みは電話またはファクスで習志野八千代心の健康を守る会・渡邊☎FAX453-6760へ

■ポリテクセンター君津 ポリテクセンター君津は厚生労働省所轄の公共職業訓練施設です。求職中の人が再就職に有利となる専門的な知識や技能を習得するための職業訓練や、在職中の人のためのスキルアップセミナーを実施しています。詳細は右のコードから。お問い合わせは同センター訓練課☎0439-57-6313へ



やちよ文芸コーナー

■短歌

鶴岡 美代子選

母が吾を忘れた日からわたくしはどこにも属せぬ迷子になった
(八千代台西) 伊藤智子

青空に昼の月見て唐突にひばりの歌の越後獅子思う
(勝田台) 二神節子

地面まで届くつららの映像はトママに働く孫よりのLINE
(八千代台北) 石川静子

E 裏木戸をあけ路地を掃くきじばとの落した金柑ひとつも
(八千代台西) 藤野宏子

おだやかな冬至の真昼旋回の爆音さえも耳にやさしも
(八千代台北) 水野大佳代

枯れかけて三尺程に切られたる蜷梅眺め歌友に詫びる
(八千代台南) 一戸光代

寒晴れの空をちぎりて送りたい雪に埋れし彼方の街に
(村上団地) 菅野紀子

妻と孫娘夫婦と車座でほろ酔の宵喜寿の星見る
(八千代台北) 野原隆志

選評 一首目、親はいつでも頼れるものと思っていたら、老いて子が面倒をみなければならなくなった。親子の関係が逆転した訳で予想外の戸惑いが下句に表現されている。二首目、「越後獅子」は昭和の大歌手美空ひばりのヒット曲で、曲名を聞いただけで、戦後の昭和二十年代が甦る。三首目、「トママ」は北海道の地名。孫からのLINEは嬉しいものだ。

■川柳

八千代川柳連盟選

ポジティブへ今や老春まつさかり 八千代台 中村 たえ
風圧を背中受けるセルフレジ 八千代台東 栗川 幸雄
腰痛もけろりと治る孫のキス 八千代台北 鈴木 高帆
やつぱりねネコ好きな人すぐ分かる 勝田台 古川 大晴
虚をつかれ心の乱れ見透かされ 勝田台 塩田 正男
正直な鏡にウソをつかせたい 吉 橋 今別府文乃
口喧嘩負けると皿の割れる音 八千代台北 渡邊ひろし
梅花咲く道を選んでお買い物 高 津 岡田やほこ

■俳句

村上 喜代子選

注連作り両手で平和ねじり込む 勝 田 草野 純子
黒門の奥に干されし大根かな 上 高 野 吉田 一朗
天と地を雲に映し梅の花 ゆりのき台 矢尾鐵太郎
成田山玉砂利踏めば年新た 大学町 林 茂一
いつもより爪を濃く染め春の旅 八千代台西 加田 和子
駅弁の赤い紐解く花の旅 大和田 井上 宏子
霞立つ大海原に漁り舟 緑が丘 大久保文夫
子雀の屋根から落ちて親を呼ぶ 八千代台北 加藤 寛昭